



「3年生」いよいよ受験本気モードへ！

中間考査も無事終わり、ホッと一息といったところではないでしょうか。多くの運動部ではインターハイの県予選が始まり、連日熱戦が繰り広げられ、すでに大会が終了した部活動もあります。大会がこれからの部活動では日頃の練習の成果が発揮できるよう願っています。

さて、多くの3年生にとってはこの大会が高校生活最後の大会となります。このあとは一気に受験モードに突入する事になります。部活動生はこれまで練習に費やしてきた部活動の時間を全て学習に振り替えて行かなくてははいけません。特に夏休みに入る前に2年次までの復習と苦手科目の克服が大切です。受験の天王山と言われる夏休みを実りあるものにするためにも、この時期に基礎学力をしっかりと身に付けましょう。

これからは、本気で学習すればするほど時間が欲しくてたまらなくなります。皆に与えられた共通の財産「時」を大事に使ってほしいものです。ある受験生を預かる予備校や塾では徹底的に携帯電話(スマートフォン)の使用をやめさせているところもあります。もちろん便利なツールであることはわかりますが、利用しているうちに時間が過ぎ去っていた経験は皆さんあるでしょう。「考える力」を養うことが受験の必須科目です。携帯電話等の利用は進路や受験の情報収集にとどめ、新たなスタートを切ろう！

「1・2年生」いよいよ君たちの時代だ

左記に示した通り、受験生である3年生が忙しくなっていくため、部活動や生徒会、各種の行事は1・2年生に委ねられていきます。部活動で得られる力はその競技力だけでなく、厳しい練習で培った精神力やその達成感から得られる自信です。部活動に対しても、各種行事に対しても今のうちに精一杯活動することを勧めます。

1年生は中学時代と比べると授業の進度が速いなあと感じてきたころだと思います。2年生も内容が深化し、苦しくなってきた教科はないでしょうか。入試問題の根本は日頃の「授業」にあります。教科担の先生方は「重要事項」や「テーマ」をもって強弱をつけながら授業されます。君たちは行事や部活動の中心になり、毎日大変ですが、それを聴き流してはなりません。3年生になってからでは遅いのです。今できることをしっかりとしておこう。

そこで、家庭学習をするにあたり「予習すること」を提案します。教科担の先生方が指示される予習ではなく自分のためにする予習です。それは「先生方が何を強く話されるかを予想する」ことです。教科書を数分読むだけで大丈夫です。大事だと思ったところや、意味がわからないところにポイントを絞り、その予想が当たっているか授業中に答え合わせをするのです。授業が楽しくなり、眠気もなくなります。ぜひ実践してみてください。いうまでもありませんが、指示された予習や復習、宿題もしっかりしたうえで行ってください。

保護者の方々へ

「受験は本人に任せてあります」という言葉を三者面談などで耳にすることがあります。高校生ですから自分で判断し、自身で進路を切り拓いていくべきかもしれません。有難い言葉ですが、生徒によっては「見放されている」という感覚を持つ生徒もいます。生徒の意見も尊重しながら保護者の意見を時折ぶつけてください。生徒たちは様々な意見に触れて考え、育っていきます。進学・就職をするといままでのように関わる機会が随分減ります。励ましながら、叱りながら、良い関係を築いてください。

＜当面の進路行事＞

6月3日・4日 実力考査

→2・3年の就職希望者は就職試験対応の考査になります。

6月6日・7日 3年進研マーク模試

→3年初めてのマーク模試です。センター試験を意識して正確な自己採点を！

6月8日 3年放課後課外開始

→3年進学者向けの実践演習

6月23日～6月26日 期末考査

→3年生は就職・進学先に提出する調査書の仮評定が算出されます。